

2017 年台湾日本語教育国際シンポジウム議程

主題 日本語教育のグローバル化

(日語教育的全球在地化)

主催: 淡江大学日本語文学科・台湾日本語教育学会・淡江大学村上春樹研究センター

助成: 国際交流基金

後援: 公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所・日本比較文化学会・韓国日語教育学会・台湾日本語文学会

場所: 淡江大学守謙国際会議センター3階有蓮庁(新北市淡水區英專路151号)

時間: 2017年11月25日(土曜日) 0900-1800

網路報名 <http://enroll.tku.edu.tw/course.aspx?cid=tfijs22017112>

11月25日(土曜日)	
08:40-	開場 受付 守謙国際会議センター3階有蓮庁前
09:00-09:10	開幕式 開会の辞 司会者 王 天保(淡江大学助理教授) 張 家宜(淡江大学学長) 西海 茂洋(公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所副代表) 奥村 訓代(日本比較文化学会会長・日本高知大学教授)
09:10-10:00	守謙国際会議センター3階有蓮庁 基調講演1 司会者 頼 振南(輔仁大学教授・台湾日本語文学会理事長・国際医療翻訳協会理事長) 講演者 上杉 富之(成城大学教授) テーマ 「グローバル研究」という試み —グローバル化時代の社会と文化の捉え方—
10:00-10:10	ティータイム
10:10-11:00	守謙国際会議センター3階有蓮庁 基調講演2 司会者 邱 若山(静宜大学教授) 講演者 宮崎 真素美(愛知県立大学教授) テーマ 不安から照らす生の諸相—日本の現代詩を視座として—
11:00-11:50	守謙国際会議センター3階有蓮庁 基調講演3 司会者 頼 錦雀(東呉大学教授)

	講演者 張 根寿(韓国日語教育学会の副会長・祥明大学教授) テーマ 日本語教育のグローバル化—韓国の事例を中心に—	
11:50-12:50	1. 会員大会(HC305) 司会者 王 天保(台湾日本語教育学会事務局長) 2. ポスター発表(黄憲堂老師紀念會議廳 HC107) 3. 昼食(HC306)	
11:50-13:00	ポスター発表(黄憲堂老師紀念會議廳 HC107) 司会者 楊琇媚(南台科技大学副教授) ① 黄 千鳳(東呉大学修士課程) ライトノベル『バケモノの子』(細田守)における間テクスト性 —脱構築的な観点からアプローチする— ② 孫 郁清(東呉大学修士課程) 作文推敲過程からみる他者からのフィードバックの効果 —LARP at SCU における授受表現を中心に— ③ 蔡 孟娟(東呉大学修士課程) 太宰治「思ひ出」における〈家庭〉 —「父母」のイメージを中心に—	
13:00-13:05	守謙国際会議センター3階(HC305) コメンテーター兼司会者 范 淑文(台湾大学教授)	守謙国際会議センター3階(HC306) コメンテーター兼司会者 林 慧君(台湾大学教授)
	曾 秋桂(淡江大学教授)	山崎 直樹(関西大学教授)
13:05-13:35	エコフェミニズムの視点から読む『チェル ノブイリの祈り』	「外国語学習のめやす」に基づいた授業 設計の特徴
13:35-14:05	解 放(東京外国語大学博士後期課程)	落合 由治(淡江大学教授)
	安部公房「耳の価値」、「鏡と呼子」、「東 欧に行く」研究—「抑圧」と「経験」をめぐって—	教育内容の基本的類型についての考察
14:05-14:10	コメンテーター兼司会者 彭 春陽(淡江大学副教授)	コメンテーター兼司会者 蘇 克保(東呉大学副教授兼学科主任)
14:10-14:40	王 憶雲(淡江大学助理教授)	陳 毓敏(中国文化大学助理教授)
	正宗白鳥『自然主義文学盛衰史』小考	聴解能力を高める新たな試み—反転授業 の導入—
14:40-15:10	楊 琇媚(南台科技大学副教授)	蔡 欣吟(淡江大学助理教授)
	庄野潤三「プールサイド小景」試論	明治中期における連体形準体法と準体助 詞—落語資料について—
15:10-15:20	ティータイム	
15:20-15:25	コメンテーター兼司会者 林 長河(銘伝大学教授兼学部長)	コメンテーター兼司会者 蘇 文郎(政治大学教授)
15:25-15:55	堀越 和男(淡江大学副教授)	城戸 秀則(東呉大学博士課程)

	日本への交換留学を円滑に行うための基礎的研究—日本留学の実態調査と留学前教育—	「個人属性」を表すテイル
15:55-16:25	郭 淑齡 (玄奘大学助理教授)	李 偉煌 (靜宜大学副教授)
	グローバルな日本語人材育成を考える—複言語・複文化主義と日本の外国語教育事例考察から—	自他両用動詞の自他性をめぐって—二字漢語サ変動詞の場合—
16:25-16:55	奥村 訓代 (高知大学教授)	/
	日本語教育のダイバーシティ—「日本事情」の変遷について—	
16:55-17:05	ティータイム	
17:05-17:45	<p>パネルディスカッション(守謙国際会議センター3階 HC305+HC306)</p> <p>主題 日本語教育のグローバル化</p> <p>司会者 曾 秋桂(台湾日本語教育学会理事長・淡江大学教授)</p> <p>パネリスト①頼 錦雀(東呉大学教授・多国語文と文化との連結課程プロジェクトの責任者)</p> <p>パネリスト②陳 淑娟(東呉大学教授・12年国民義務教育日本語組制定の専門家)</p> <p>パネリスト③羅 曉勤(銘伝大学副教授・日本語創新教育方法応用の実践者)</p> <p>パネリスト④工藤 節子(東海大学助理教授・カリキュラム開発と国際交流の実践者)</p> <p>パネリスト⑤上杉 富之(成城大学教授)</p> <p>パネリスト⑥宮崎 真素美(愛知県立大学教授)</p> <p>パネリスト⑦奥村 訓代(日本比較文化学会会長・高知大学教授)</p> <p>パネリスト⑧張 根寿(韓国日語教育学会の副会長・祥明大学教授)</p>	
17:45-18:00	討論	
18:00-18:10	<p>閉幕式 守謙国際会議センター3階(HC305+HC306)</p> <p>曾 秋桂 (淡江大学教授兼学科主任・台湾日本語教育学会理事長・村上春樹研究センター長)</p>	
18:30-20:30	懇親会(福格大飯店 淡水區學府路 89 號 17 樓白金廳)	